

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】令和5年9月14日(2023.9.14)

【公開番号】特開2022-86609(P2022-86609A)

【公開日】令和4年6月9日(2022.6.9)

【年通号数】公開公報(特許)2022-103

【出願番号】特願2020-198717(P2020-198717)

【国際特許分類】

B 6 5 H 3/52 (2006.01)

10

【F I】

B 6 5 H 3/52 330 H

【手続補正書】

【提出日】令和5年9月6日(2023.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

媒体を給送する給送ローラと、

前記給送ローラに対向して配置され、且つ、媒体を分離する分離ローラと、

前記分離ローラを媒体給送方向の逆方向に回転させるための駆動力を発生するモータと、

前記モータが発生した駆動力に応じて回転する第1ギア、前記分離ローラの回転軸に設けられた第2ギア、及び、前記第1ギアと前記第2ギアの間に設けられた第3ギアを含むユニットと、を有し、

前記第3ギアは、二段ギアであり、前記第2ギア側のギアの歯数は、前記第1ギア側のギアの歯数より多い、

ことを特徴とする媒体搬送装置。

30

【請求項2】

前記ユニットは、前記第1ギアの軸を回転軸として揺動可能に支持される、請求項1に記載の媒体搬送装置。

【請求項3】

前記分離ローラの回転軸上に設けられたトルクリミッタをさらに有し、

前記トルクリミッタによって、前記分離ローラが前記給送ローラの回転方向と逆方向に回転しようとするトルクを制限することによって発生する力により、前記分離ローラは前記給送ローラ側に押圧され、

前記第1ギアは、前記モータの回転によって、前記分離ローラを前記給送ローラから離間させる力を発生する方向に回転する、請求項1または2に記載の媒体搬送装置。

40

【請求項4】

前記第3ギアは、前記トルクリミッタによって前記分離ローラを前記給送ローラ側に押圧する力と、前記第1ギアによって前記分離ローラを前記給送ローラから離間させる力の差が所定値以下となるように設けられている、請求項3に記載の媒体搬送装置。

【請求項5】

前記第1ギアの回転軸と前記分離ローラの回転軸の間に配置されるギアの数は奇数である、請求項1～4の何れか一項に記載の媒体搬送装置。

【請求項6】

前記分離ローラを前記給送ローラ側に押圧する押圧部材をさらに有する、請求項1～5

50

の何れか一項に記載の媒体搬送装置。

【請求項 7】

パスポートを搬送可能な搬送ガイドをさらに有し、

前記ユニットは、前記搬送ガイドを挟んで前記給送ローラの反対側に配置される、請求項1～6の何れか一項に記載の媒体搬送装置。

10

20

30

40

50